

総合整備計画

兵庫県養父市熊次辺地
(辺地の人口 563 人 面積 28.0 k m²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する市(町)又は字の名称 養父市 熊次
- (2) 地域の中心の位置 養父市別宮中ゼン 382-4
- (3) 辺地度点数 126 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

辺地区域は、昭和 31 年までは旧美方郡熊次村全域で、旧養父郡関宮村と合併して関宮町となり、その後、平成 16 年 4 月に旧八鹿町、旧養父町、旧大屋町との合併により、現在の養父市を構成している区域である。

地理的状況としては、兵庫県下最高峰の氷ノ山(1,510m)や鉢伏山(1,221m)が連なり、その麓にはハチ高原、東鉢伏高原が広がる山岳高原地域の辺地である。

公共的施設の現状は、特に道路整備が遅れており、早急に整備することが課題となっている。このため、市道の改良・舗装を推進するとともに、道路周辺の営繕化を進め、当該地域と市内はもとより、阪神間から来訪する交流人のアクセスの利便性向上を図る。

また、当辺地区域は昭和 40 年代から、氷ノ山後山那岐山国定公園の中心をなす氷ノ山・鉢伏山にある山岳高原などの豊かな観光資源を生かしたスキー場開発や登山道・遊歩道、キャンプ場、多目的広場など、スポーツ・レクリエーション施設の整備を進めており、自然体験ゾーンとして京阪神方面から観光入込客の誘致につとめている。さらに、登山の安全性を確保するため遊歩道等の整備を行い、より安全な登山を提供することにより、登山者をはじめとした同地への観光・交流人口の増加を図る。

本地域には、ハチ高原スキー場や氷ノ山国際スキー場など複数のスキー場があり多くの人を訪れるため、冬季には常に適切な除雪が必要な地域であり、老朽化している除雪機の更新を行うことで道路交通の安全性・利便性を高め、スキー場利用者等の増加を図るものである。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで 5年間

(単位 千円)

施設名	区分 事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
市道小路頃鹿倉口線ほか1路線整備事業	養父市	265,500	152,200	113,300	113,300
市道大久保1号線道路改良事業	養父市	13,500		13,500	13,500
除雪機械整備事業	養父市	60,000		60,000	60,000
消防格納庫整備事業	養父市	4,200		4,200	4,200
氷ノ山後山那岐山国定公園自然学習歩道等整備事業	養父市	5,000	2,250	2,750	2,700
合計		348,200	154,450	193,750	193,700

(別表第1)年次別計画表

1/2

市町名 養父市

辺地名 熊次

2/2

【変更前】

(単位:千円)

事業名	事業内容	全体				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度			
		事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源	
市道小路頃鹿倉口線ほか1路線整備事業	橋梁1橋 L=20.6m W=7.5m 改良 L=70m W=7.5m	200,000	75,000	125,000	125,000	150,000	60,000	90,000	90,000	50,000	15,000	35,000	35,000												
除雪機械整備事業	除雪車購入(9t)	60,000		60,000	60,000					30,000		30,000	30,000					30,000		30,000	30,000				
氷ノ山後山那岐山 国定公園自然学習 歩道等整備事業	大平頭トイレ新設 氷ノ山越登山道 等整備	68,000	15,750	52,250	52,200	5,000	2,250	2,750	2,700	30,000	13,500	16,500	16,500	3,000		3,000	3,000	20,000		20,000	20,000	10,000		10,000	10,000
合計		328,000	90,750	237,250	237,200	155,000	62,250	92,750	92,700	110,000	28,500	81,500	81,500	3,000		3,000	3,000	50,000		50,000	50,000	10,000		10,000	10,000

市町名 養父市

辺地名 熊次

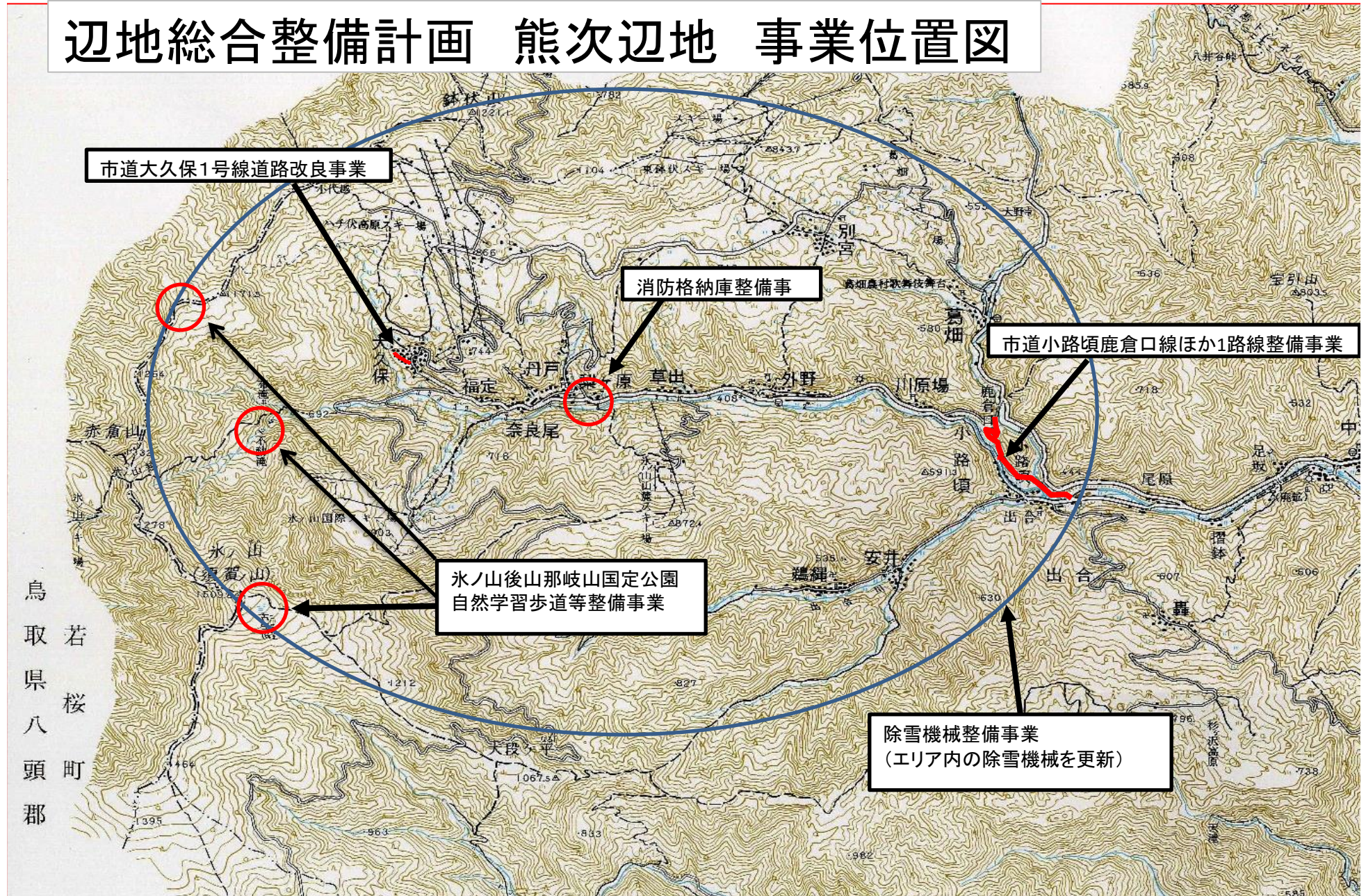
2/2

【変更後】

(単位:千円)

事業名	事業内容	全体				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度			
		事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源	
市道小路頃鹿倉口線ほか1路線整備事業	橋梁1橋 L=20.6m W=7.5m 改良 L=70m W=7.5m	265,500	152,200	113,300	113,300	150,000	86,200	63,800	63,800	50,000	28,700	21,300	21,300	15,500	8,800	6,700	6,700	50,000	28,500	21,500	21,500				
市道大久保1号線 道路改良事業	改良 L=80m W=4.0m	13,500		13,500	13,500									13,500		13,500	13,500								
除雪機械整備事業	除雪車購入(9t)	60,000		60,000	60,000					30,000		30,000	30,000					30,000		30,000	30,000				
消防格納庫整備事業	トイレ増設 木造平屋 (1.9m×1.2m)	4,200		4,200	4,200									4,200		4,200	4,200								
氷ノ山後山那岐山 国定公園自然学習 歩道等整備事業	大平頭トイレ新設 氷ノ山越登山道 等整備	5,000	2,250	2,750	2,700	5,000	2,250	2,750	2,700																
合計		348,200	154,450	193,750	193,700	155,000	88,450	66,550	66,500	80,000	28,700	51,300	51,300	33,200	8,800	24,400	24,400	80,000	28,500	51,500	51,500				

辺地総合整備計画 熊次辺地 事業位置図



(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市 町 名	養父市	辺 地 名	熊次
【道路施設】			
・ 市道小路頃鹿倉口線ほか1路線整備事業			
<p>本市道は、国道9号から県道関宮小代線を経てハチ高原へ至る道路であり、スキーや登山といったスポーツレクリエーションや自然学校の受入地として関西一円から多くの人々が訪れる際に利用する主要な道路である。</p> <p>現況道路は勾配がきつく橋梁等の幅員が狭小であることなどから、冬季間は積雪や路面凍結によるスリップ事故、立ち往生による渋滞が度々発生しており早期改良が望まれている。</p> <p>前述の状況の下、平成30年度から新たに道路改良工事を実施し、道路環境の改善を図っているところであるが、令和3年度以降も引き続き本事業を実施することにより、都市部からハチ高原へのアクセス道路の環境の更なる向上が図られ、観光交流や産業振興に大きく寄与することとなる。</p>			
・ 市道大久保1号線道路改良事業			
<p>本市道は、県道関宮小代線から大久保集落につながる市道であり、生活道として欠かせない路線である。この道路は、幅員が狭小であり緊急車両の通行不可能区間が存在しているため、早期の改良が望まれている。</p> <p>本事業にて、その区間を整備することにより全線緊急車両の通行が可能となり、安全の向上に大きく貢献する。</p>			
・ 除雪機械整備事業			
<p>氷ノ山山系を含む国定公園エリアは、グリーンシーズンからウインターシーズンまで年間を通して、養父市におけるレジャー観光の拠点である。</p> <p>本地域には、ハチ高原スキー場や氷ノ山国際スキー場など複数のスキー場があるため、冬季にも多くの人々が訪れており、地元市民の生活道路確保のみならず、利用者の利便性を向上させるためにも、常に迅速で適切な除雪を行う必要がある。</p> <p>本事業は、現在使用している老朽化した除雪車の更新を行うことにより、市民及び冬季利用者の安全性や利便性を高め、スキー場利用者等交流人口の増加を図るものである。</p>			
【消防施設】			
・ 消防格納庫整備事業			
<p>市民の安全安心を担保するため、地域防災力の要として活動している消防団の存在は必要不可欠である。消防格納庫は、消防団員の車両や機械器具など活動拠点となっており、</p>			

トイレ整備を行うことにより、多様化する自然災害等に対応するため活動拠点としての地域防災力の維持・充実を図るものである。

【観光又はレクリエーションに関する施設】

・氷ノ山後山那岐山国定公園自然学習歩道等整備事業

氷ノ山山系を含む国定公園エリアは、グリーンシーズンからウインターシーズンまで年間を通して、養父市におけるレジャー観光の拠点である。

グリーンシーズンでは、本地域で実施する自然学校や部活動等の夏合宿の参加者、近年の登山ブームによる一般の登山者など、登山を行う方が増えている。

本事業は、登山者等が利用するトイレ、登山道を整備することで登山者等の安全性・利便性を高め、登山観光客等の増加を図るものである。

(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと（道路なら個別路線ごと）に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。